



いろいろな形の扁平の「薄皮饅頭」は橋杭岩をイメージした串本の名物。

火山活動で 生まれた 大島へと続く 岩柱群

熊野古道の語り部さん
でもある。

南紀熊野ジオパークガイドの会
会長 神保まひるさん。



☆ゴロゴロ岩や大オオカミ岩などと名付けられた大小43個の岩がまるで橋の杭のように見えることから橋杭岩と呼ばれています。
一番高い岩で高さ19mもあるそう。



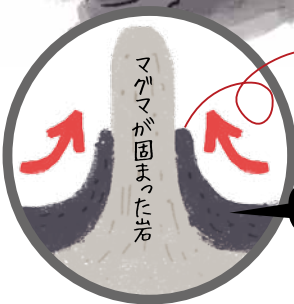
沖に見えるのが、紀伊大島。

WAKAYAMA GEO!

めざせ！南紀熊野ジオパーク

vol.1

橋杭岩[串本町]



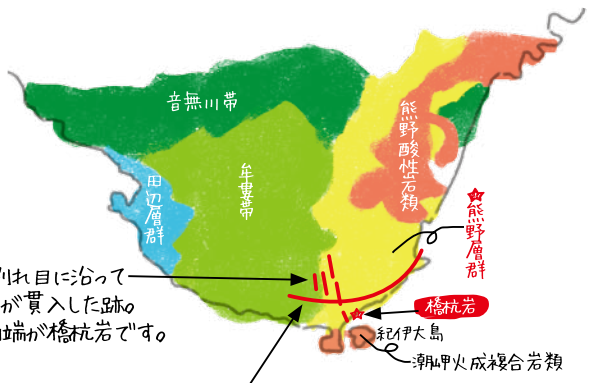
高熱で溶けたマグマに引張られて熊野層群の泥岩層が盛り上がっています。

黒い泥岩層

1800~1600万年前の浅い海に堆積したのが熊野層群。そこに1500万年前の火山活動で、下から盛り上がるマグマが熊野層群の黒い泥岩層を突き破り、地下で固まったのが橋杭岩だそうです。



弘法大師と天の邪鬼の伝説が残る橋杭岩。本当に不思議な形です。



岩の割れ目に沿ってマグマが貫入した跡。その南端が橋杭岩です。

東西22kmにもわたる古座川弧状岩脈。およそ1500万年前に噴火した巨大カルデラの一部。その規模は南北径40km、阿蘇のカルデラを遙かにしのぐ、日本最大級と推定されています。橋杭岩を形成するマグマモコの時の噴火のモノ。



Geopark Sketch Walking

